

“ヒラメキ”からはじまる
企業ストーリー

不動産投資のセカンドオピニオン情報を提供する「(株)ノークリー」

文 牛久保洋次

Text by Yoji Ushikubo

【未常識】今は常識ではない、でも未来に常識となる事：これは私が作った造語です。

金融庁の金融審議会が2019年6月3日に公表した報告書を発端に「老後2000万円問題」が話題となりました。“2000万円”という数字は統計による平均値から算出された値ではありませんが、老後資金の不足は以前から指摘されていたことであり、決して目新しいものではありません。貯金だけで老後資金を作るのは容易ではない昨今、良くも悪くも多くの人に資産形成について真剣に考えるきっかけを作ったことは間違いありません。

今回は社員が副業で手掛ける不動産投資のセカンドオピニオン情報を提供する「株式会社ノークリー」をご紹介します。

2018年は副業元年と呼ばれているほど、副業が一般的に認知され、企業側も副業を認めるような動きが加速しました。

総務省の「就業構造基本調査」でも実際に副業を希望している人は年々増え続け、また、実際に副業をしている人も増え続けています。

社員に人気の副業の一つが不動産投資です。管理業務を委託すれば手間がそれ程からないので、本業に影響が出る可能性が少なく、物件購入の際も銀行融資が通りやすいというメリットがあります。

しかし、不動産販売会社の薦めるまま賃貸物件を購入し、後になり入居率や家賃が下がり、ローン返

済が出来なくなる等の相談が近年急増しています。実際、不動産投資に必要な知識を持っている人は全体の約1%で、社員と不動産販売会社には大きな情報格差があります。インターネットの普及で情報社会となったものの、不動産業者とサラリーマン投資家の情報格差は未だに大きいのが現実です。この情報格差を埋めるためには、所与の情報の多角的な検証が必要になります。

ノークリーでは各自の生活設計に合う不動産投資のセカンドオピニオン情報を提供し、社員の副業を支援しています。

同社には毎月40〜50件の相談があります。「不動産の評価が正しく行われているのか」「購入後に起こりうるリスクをきちんと想定できているのか」。投資家自身が時間的・能力的に不足があるのであれば、相手先不動産業者以外で第2、第3の信頼できるセカンドオピニオン、サードオピニオンを得られるように心掛けてみてはいかがでしょうか。

【株式会社ノークリー】
<https://www.nocre.jp/>

今月の一言

ご自身の将来設計にも
セカンドオピニオンを

これが則ち【未常識の発見】



Profile

慶應義塾大学商学部 卒業
株式会社友アンド愛（レコードレンタルビジネスの開発者）を創業し、代表取締役就任。約700店舗をFC展開する。株式会社ビザカリフォルニアを創業し、代表取締役就任。約400店舗をFC展開する。日本CDビデオレンタル商業組合 初代理事長（社）ニュービジネス協議会 理事等を歴任。
現在、株式会社いしかい隊 会長、その他顧問数社。